



田川地区平和センター

鶴岡市泉町8番57号 TEL 0235-22-1776 FAX 0235-22-1973 URL <https://ta-heiwa.com/>

編集発行
田川地区平和運動推進
労働組合センター教宣部



平和推進

戦後80年、戦争の歴史を忘れず、平和運動を推進しよう！

5・15オキナワ平和行進、原水禁世界大会、ヒロシマ子ども平和使節団

歩く・見ることで知る沖縄・

語ることで見える沖縄がある

5・15オキナワ平和行進

5月16日(金)～19日(月)

沖縄日本復帰53周年5・15平和行進・県民大会が5月16日(金)から実施されます。

田川地区平和センターは2004年から参加し、現在は県平和センター全体の取り組みになっています。

アジア・太平洋戦争では、日本本土を防御する「捨石」にされた結果、日本で唯一地上戦の現場となり、沖縄県民の4分の1にあたる12万人以上が犠牲になりました。平和行進・県民大会の参加、山形県人会・中部地区労等の懇談を通して、全国の基地の約70%がある沖縄の現状を学びます。

田川地区から2人派遣します。そのためのカンパも行っています。



2023 5・15 平和行進



秋葉忠利元広島市長

被爆80周年山形県平和大会
7月19日(土) 山形市
講師：秋葉忠利元広島市長
原水爆禁止国民会議顧問、NPO
法人明るい社会づくり運動、理事長
原水爆禁止広島県協議会代表委員、
戦争をさせないヒロシマ1000人
委員会呼び掛け人代表
各単組に参加を要請します。



2024原水禁山形県平和大会 (長井市)



原爆ドーム (負の世界遺産)

見て、聞いてヒロシマを学ぼう！

2025被爆80周年原水爆禁止

世界大会 (広島大会)

8月4日(月)～6日(水)

2024年のノーベル平和賞は、日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)に授与されました。ノーベル委員会は、授賞理由として、被爆者(ヒバクシャ)たちによる地道な活動が、核兵器のない世界を目指して尽力し、核兵器が二度と使われてはならないことを証言を通じて示してきたことを挙げています。

広島大会に参加し、折り鶴平和行進、世界大会に参加し被爆者の体験談を聞き、原爆資料館や平和公園の碑巡るを通し、心の声を聞き、被爆の歴史を学び、これからの平和運動につながっていきます。2人派遣します。

ヒロシマで学ぼう平和の心

第40次ヒロシマ子ども平和使節団

8月4日(月)～6日(水) 小学生・

中学生・高校生各2人(合計6人) 募集

全国・そして山形県内で働く労働者が核兵器を持たず、作らず、持ち込ませずそして「子どもたちを二度と戦場に送るな」と訴え平和運動を続けてきました。

「ヒロシマ子ども使節団」は、直接広島を訪れ、現地で体験し、学び、戦争・核兵器の恐ろしさや悲惨さを知ってもらうために企画され、山形県平和センターが主催しています。

県内を2つのブロックに分け、今年は第40次で北ブロック(庄内・最上・北村山)からの派遣となり、新庄駅から新幹線で往復します。被爆者の体験談、原爆資料館、碑巡り等を体験し、平和について考えてみます。

使節団の自己負担は1万円その他の費用は県教組・高教組・平和センターが負担します。是非、子どもさんに参加させて下さい。引率者も教組を中心に募集します。



子ども平和使節団